

## 豊橋技術科学大学 SGU 公開シンポジウム (2019.11.08)

slido (質問やメッセージを匿名で集めるサービス) による会場からの質問などと、それに対する回答

※ 回答は、参加者と共有する目的で、コーディネーターが回答可能な内容に対して、知り得る範囲で最善を尽くして作成したのですが、大学の公式見解と異なる場合もあることをご了承ください。また個人の意見としての発言には回答を付していません。

文責：スーパーグローバル大学推進室長・教授 高嶋孝明

本件に関する問い合わせ先： sgustaff@office.tut.ac.jp

| No. | 会場からの質問や意見など ( slido への投稿を転記 )          | コーディネーターによる回答                                                                                                                                   |
|-----|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | ビジョン、仕組みが素晴らしいです。                       | ありがとうございます。                                                                                                                                     |
| 2   | 留学生全体の現時点でのJLPTの受検及び結果は？                | 情報が必要な方は、個別にお問い合わせください                                                                                                                          |
| 3   | マレーシアに戦略的に学生を派遣している理由があれば教えてください。       | 2013年にマレーシア・ペナンに大学の海外教育拠点を設立し、グローバル教育の推進を促進しています。マレーシアは多文化が混じり、英語が広く通じる、またペナン地域は各種産業の集積地であるため、この地域を選びました。                                       |
| 4   | 授業の質の保証、モニタリングはどのようにしていますか。             | 学生・教員への授業アンケート、および教務委員会等による調査などを継続して実施しています。                                                                                                    |
| 5   | バイリンガル授業を受けている学生の授業に対する理解はどの程度ですか？      | 学生へのアンケートでは「最初は戸惑ったが徐々に慣れてきた・特に抵抗なく受け入れられた」が9割程、教員へのアンケートでは「期末試験や演習の結果が、少し低下した・あまり変わらない」が9割程度です。なお、確認方法については更に検討し今後も継続的に慎重に評価していく必要があると認識しています。 |
| 6   | バイリンガル授業の対象科目はどの範囲まででしょうか。基礎教養科目も含まれますか | 日本語での講義が必然である科目を除き、基礎共用科目および専門科目のほぼ全てを対象としています。なお、GAC1年入学の留学生で日本語力がまだ低い学生に対しては、1年の前期は英語による講義を行っています。                                            |
| 7   | 留学生確保に伴う広報について、どのような取り組みをされているか教えてください。 | 国や地域別・留学生の受け入れプログラム別に戦略的リクルート方針を立て、費用対効果を常に意識し結果を確認しながら、継続的に実施しています。                                                                            |

|    |                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----|--------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8  | 学部で入学した留学生の英語力 ( TOEFL80)と、高専から入学してくる学生 ( TOEIC550)で差があるように思えるが、授業の理解度に差が出ないか？ | 学部1年入学の留学生は、高い英語力をすでに有するため、日本語力がゼロビギナーであっても英日バイリンガル授業により基礎科目・専門授業の理解に支障がなく、語学は日本語修得に集中できます。高専から3年に編入する学生の英語力のTOEIC 550点は、日本人も留学生共通に課しています。高専卒の留学生は日本語の授業が理解できるので、英語がこの点数でもバイリンガル授業の理解に問題はありません。またアジア圏の留学生は国によっては必ずしも英語が得意ではなく、多様な留学生を獲得するために、このような制度で現在は運用しています。 |
| 9  | 留学生の国内就職率はどのくらいですか？                                                            | 修士課程を修了した留学生の52%が国内に就職しています ( 2017.03実績 )                                                                                                                                                                                                                        |
| 10 | バイリンガル授業等進めやすくするには図解の多用は緩衝材の1つの手段ではと思いますが、いかがでしょうか？                            | はい、そうだと思います。                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 11 | 留学生の日本語：留学生に対する長期的な日本語教育カリキュラムはありでしょうか。ゼロレベルから抽象度の高い議論ができるというような超級レベルまで        | 入学前から学部4年前期までをゼロビギナーからN1合格レベルに見立て、コースデザイン、カリキュラム策定しています。工学系留学生のニーズを鑑み、中上級レベルまでは、アクティブラーニングやディスカッションを取り入れた教養教育を行い、中級からは編入生と共通で集中した試験対策を実施しています。                                                                                                                   |
| 12 | バイリンガル授業に専門科目も入ると思うのですが、いわゆるアクティブラーニングではなく、講義形式科目でも英語なのでしょうか？                  | はい、そうです。                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 13 | 前田さんのおっしゃる通りだと思います。バイリンガルの話題は今回のシンポジウムのテーマとしては小さいのでは。                          |                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 14 | 前田氏のブリジストンのお話の中で、国際性を感じ始める日本人：外国人の比率などあるのでしょうか？                                | 私の体験では、人数の比率ではなく、ビジネスを進めていく上での必然性 ( 例えば、上司や顧客のナショナルリティや共通に使える言語、ビジネスプロセスなど ) が主要因だと思います。                                                                                                                                                                         |
| 15 | 英語以外に、地域や国の文化、考え方の相違を学ぶ授業も大切になりますが、グローバル・リベラルアーツ教育の具体的な内容はどのようなものですか。          | 異文化コミュニケーション論、外国語学習論、比較文化論、国際知的財産法などGAC推奨科目が設定されています。                                                                                                                                                                                                            |

|    |                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 16 | 大学がやってくれる、してくれる、と言う学生が多いのに同意です。どのようにそういった学生の自主性を引き出していますか？                                                                                                   | 入学時オリエンテーションでのマイ<br>インドセット、教員が手をかけすぎない<br>ようにするなどしています。                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 17 | 日本人学生・留学生の学びたいことと、受け入れ大学での授業の中身のミスマッチが起こらないようにするために、何か取り組みはありますか？                                                                                            | GAC学生を含め多様な留学生が急速<br>に増えていますので、今後取り組む<br>必要のある課題と認識しています。                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 18 | 留学生が当地域の企業へインターンなどに行くことはありますか？またその仕組みはありますか？                                                                                                                 | 地域の企業で留学生の実務訓練を受<br>入れているケースはありますが、まだ<br>多くはありません。今後増やすための<br>仕組みが必要と認識しています。                                                                                                                                                                                                                                 |
| 19 | 入学を辞退した学生の行先や辞退理由について、何か分析されていますでしょうか。                                                                                                                       | 分析はできていません。今後の課題<br>と認識しています                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 20 | GACで学ぶことで語学力の向上や他国文化の相互理解は進むと思いますが、技術科学を学ぶという観点で効果は出ていますか？                                                                                                   | GACはまだ開始して間もないので、<br>今後把握していく必要があると認識<br>しています。                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 21 | 英語での授業だとインプットが少なくなってしまうのか心配ですが、各授業で何かしらのフォローアップを組織的に実施されていますか？                                                                                               | 同じ授業時間内であれば、授業コン<br>テンツのインプットは少なくなるで<br>しょう。しかし、従来の授業にはな<br>かった、英語のテクニカルタームや<br>英語表現や英語での考え方を学ぶ効<br>果があります。また、本来学習は、<br>授業時間内だけではなく予習・復習<br>時間を含めて行うものなので、グロ<br>ーバル人材育成のために、授業時間<br>の使い方が異なってきたというのが<br>認識です。なお、今後英日バイリン<br>ガルの実施経験を積み重ねるに従<br>い、組織的なフォローアップの必要<br>性が出てくることはあると思われる<br>ので、今後の課題と認識をしていま<br>す。 |
| 22 | 学年が上がると、研究室に所属すると思われますが、海外派遣先との関連性がありますか                                                                                                                     | 学部4年で研究室に配属されます。<br>海外実務訓練や海外留学を志向する<br>学生は、研究室が海外との共同研究<br>や学生の海外派遣実績が高く積極的<br>な研究室を希望する傾向は高いのは<br>間違いのないと思いますが、具体的<br>なデータはありません。                                                                                                                                                                           |
| 23 | The idea that we are engineer and do not have to care of English so much is totally wrong. To convey ideas and make it happen, you do need excellent English | 技術の場合、グローバル共通な技術<br>表現手段(プログラム・図面・考え<br>方など)がコミュニケーションのコ<br>ンテンツでもあるため、英語という<br>語学そのもののハードルが低くても<br>成り立つ、というのが発言の背景<br>で、決していい加減な英語で構わ<br>ない、という意図ではありません。英                                                                                                                                                   |

|    |                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                    |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |                                                                                                                                                                       | 語 Non-Native なグローバル技術者の “excellent English” とは何か、を考えることは意味あると思います。                                                                                                                                                                 |
| 24 | GACの教員の構成が知りたいです。先生方はGACに特化した方々でしょうか。それとも、普通のコースとの兼任でしょうか。                                                                                                            | GACという特別なクラスがあるわけではなく、一般の課程/専攻・コースに所属し、卒業/修了要件は一般学生と同じです。GAC学生は、それに加えて、語学および一部の授業が必修となり、それらの要件を満たすことで、修士終了時に、修士の学位に加えて、GAC Certification を授与します。したがって、GACの教員がいるわけではありません。これが現在の設計ですが、一方で一般学生との差別感がないという意見もあり、今後検討していくことも必要と考えています。 |
| 25 | まだ国際化に目を向けていない日本企業の意識転換が必要だと思います。彼らが必要性を自覚してから、育成では既が遅いのでしょうか。                                                                                                        | いつであっても遅いということはありません。ただし、すでに日本は世界から周回遅れという意見もあり、待ったなしの状況だと思います。                                                                                                                                                                    |
| 26 | GACコースに所属する学生達のキャリア意識はどうなのでしょう？ 卒業、修了後にどのような未来を思い描いているのでしょうか？                                                                                                         | GACコース設計時に想定していた学生像と、開始して入学してくる学生像のギャップが明らかになってきて、これは大きな課題と認識し始めています。                                                                                                                                                              |
| 27 | 学生の授業料、生活費の支援は？                                                                                                                                                       | 入学時および入学後に、優秀な学生への入学金や授業料の免除や減額の制度があります。また、公的・民間の奨学金など多数の支援制度があります。また来年度からは政府の大学の無償化の制度が始まります。                                                                                                                                     |
| 28 | レポートのフィードバックは個人面談？ 誰が担当していますか？                                                                                                                                        | SGU推進室所属教員がすべてに目を通してコメントします。ハウスマスターが行うピアセッションで学生間での確認を通して、自己確認を行います。                                                                                                                                                               |
| 29 | どの程度の割合のGACコース生が、高専時代に寮生活を経験しているのでしょうか？                                                                                                                               | 具体的な数字は把握していませんが8割近くは経験者だと思います。なお、3年に編入してくるGAC留学生は全員が高専からであり、ほぼ全員が寮生活経験者です。                                                                                                                                                        |
| 30 | I recommended shared house Many years ago, but denied by the officials saying Japanese students are not able to adjust themselves to such an intermingle environment. | 素晴らしく適応できる日本人がいる一方で、適応ができない日本人も一定数います。大事なことは、適応したいと思いながらも行動に移せないマジョリティの中間層の学生が、適応できない学生に引きずられるのではなく、適応できる学生の良い影響を受けて成長することだと思います。                                                                                                  |

|    |                                                                                           |                                                                                                                                       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |                                                                                           | す。                                                                                                                                    |
| 31 | バイリンガルの取組みは興味深いですが、SGUのルール的にはいわゆる「英語による授業」とカウントされないと思いますが、文科省からはどのような評価がありますか。            | SGU中間評価・構想調書にて、本学のバイリンガル授業内容を明記し、それを「英語による授業」としてカウントしていますが、文科省から特段の指摘は受けておりません                                                        |
| 32 | グローバル宿舍を大学外に設置することはできないのでしょうか？豊橋市の各地域に。                                                   | そのような議論はあります。設置と運営費用、また学生にとっては大学までの通学時間・費用などが懸念事項と考えます。                                                                               |
| 33 | 留学生だけでなく、コース全体で地域と深く関わる機会はあるのか                                                            | これからの課題です。まずは機会創出と年間、全体を通したビジョン作りが必要と思います。                                                                                            |
| 34 | I am kind a suspicious about global. I like the border that cause friction and thus heat. |                                                                                                                                       |
| 35 | 学生だけでは解決できない問題が生じた時は、誰がどのように対応、サポートしていますか？                                                | ハウスマスターを中心とした教職員組織がGH supportersとして、フォローアップします。ただ、できるだけ学生が自分たちで解決できるように仕向けることが重要だと考えます。                                               |
| 36 | 生活空間はTUTグローバルハウスだと思いますが、それとは別に異文化交流スペースはあるのでしょうか？本学ではL-cafeという、留学生や日本人学生の交流できる空間があります。    | 附属図書館1階のマルチプラザは、学生は24時間/週7日利用でき、オープンな交流スペースとなっています。異文化交流プログラムとしての具体的な利用活用促進は行っていますが、自然とそういう雰囲気もできてきていると思います。それらをより活性化するのは、今後の課題と考えます。 |
| 37 | 大学側で整備し過ぎることと、学生の地域との関係性深化の課題は、20年近く前の留学生（地域頼みだった）の当時の生活を聴くと悩ましい。                         | はい、でも今の学生が恵まれているのは間違いなく、また社会の認識も高まっているのは事実であり、それを有効に活かしてアウトプットを高めることにより注力することが大事だと考えます。                                               |
| 38 | 留学生が町に出ていく話ですが。コーディネーターのように繋ぎ役になる方がキーマンと思います。貴学にはそのような教員or職員（or学生）がおられるのか、仕組みがあるのでしょうか。   | 国際課が留学生に情報をつないでいますが、体系的なものではなく要請に答えている感じです。理想はコーディネートする人がいればいいとおもいますが、学内外の状況も変わりやすいので、仕組み化は簡単ではないと思います。                               |
| 39 | 授業で忙しいとのことですが、高専での単位は変換されないのですか？                                                          | 高専の単位は、学部1,2年生の単位として換算されています。本学のカリキュラムは、高専で学ぶカリキュラムをベースとして、それを発展させ                                                                    |

|    |                                                                                                 |                                                                                                                                          |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |                                                                                                 | るカリキュラムとして設計されており、3年生ではその科目を、また4年生になると研究室配属されて卒業研究を12月までに終え、1-2月は実務訓練で企業や研究機関に2ヶ月派遣するため、学生にとっても教員にとっても、現状は過密であり、将来にむけて何らかの再考が必要であると考えます。 |
| 40 | D&I (ダイバーシティ & インクルージョン) という多様性の観点で、英語教育・日本語教育を実施する時、能力的な差異をクラス内に設けることが重要だと、気づきがありました。いかがでしょうか。 | 日本語教育はレベル別に行なっていますが、学習歴や学習期間、場所、学年に差がある学生がクラスに混ざるため、学びあい、教えあいが自然に生まれます。来年度からは高専からの編入生と1年生から積み上げてきた学生も混ざるので、さらに混ざり、おもしろくなることが予想されます。      |
| 41 | Residents can take local problems as their after hour program.                                  |                                                                                                                                          |
| 42 | 補助金からの自走化について、貴学の特徴的な自己収入増加策などあればご紹介ください                                                        | 現時点では運営費交付金を主たる自己負担資金としていますが、今後の課題として、企業や同窓生からの寄付金などを検討する予定です。                                                                           |
| 43 | 豊橋に増えてきたコワーキングスペースを活用する「ノマド研究室」というのは無理なのでしょうか？地域と交流しやすい施策も兼ねて。学生だけが学外へと考えなくてもいいのでは。             | いいアイデアだと思います                                                                                                                             |
| 44 | 寮の運営に関して、どこまでを学生に任せて、どこまでを職員が担うかの線引きはどう設定しているか？また学生をどう教育しているか？                                  | 明確な線引きはむずかしいとおもいますが、プログラムの構成や学生の特性を鑑みると、グローバルハウス生活では、いかに学生にやる気を起こさせるか、その気にさせるかが教職員の役割であるように思います。                                         |
| 45 | 教職員だけの企画だけでは限界があるので、何とか学生を企画側に入れて、企画するような仕組みを作るべき。企画するチームに入る学生に何らかのインセンティブを与える仕組みがあってもいいのでは。    | 基本的には学生がやりたいというもの学生たちが先輩の活動をリファ－する形で企画しています。企画チーム(GHSC)の学生にはインセンティブがありますが、もう少しあってもいいように思います。                                             |
| 46 | 留学生の金銭的なサポートについてどうしていますか                                                                        | 正規留学生の90%以上が何らかの奨学金を受給しています。日本政府関係が約30%、外国政府関係が約20%、民間その他が約50%です。                                                                        |
| 47 | マレーシアの教育過程は11年制だと思いますが、基本は(貴学の?)2年の準備過程を過ごした学生がターゲットということでしょうか？                                 | 国内外で準備教育を受けた学生がターゲットです。マレーシアから直接入学する学生は、Form 6を終えた学生、またA-Level 課程修了者がター                                                                  |

|    |                                                                                           |                                                                                                              |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |                                                                                           | <p>ゲットです。なお、現時点のマレーシアからの留学生の多くは、日本の高専に留学して学部3年に編入してくる学生と、MJHEPのツイニングで入学する学生、また修士/博士学位取得のために大学院に入学する学生です、</p> |
| 48 | <p>Interesting, but not fun では、なかなか学生の参加は難しいかも知れません。学生が「楽しい」と思えることが、強い動機になり得るのだと思います。</p> | <p>そう考えますが、ハウス会議での本学学生の発言の通り、最初の一步、また継続する一步のハードルがとても高い学生が多いのが課題です。</p>                                       |
| 49 | <p>豊橋の民間アパートに住む留学生はどのくらいいますか？いる場合、保証人や生活上の問題解決や相談なある場合の支援はどのようにされていますか？</p>               | <p>GAC以外のほとんどの留学生が市内の民間アパートに住むことになります。留学生を受け入れてくれる不動産会社や大家さんを紹介しています。保証人は大学がしています。留学生相談担当、国際課で対応しています。</p>   |
| 50 | <p>SGU採択校として、外向けへの広報戦略があれば教えてください。</p>                                                    | <p>これまでは、外部への広報よりも、まず学内で改革を実践することを最重要視してきました。その一区切りとして今回初めて行った公開シンポジウムを契機に、今後の広報戦略を考えていく所存です。</p>            |
| 51 | <p>グローバル化を認めると寛容性も増えなければバランスしないと思いますが、いかがでしょうか</p>                                        | <p>はい、そのとおりです。したがって学生だけではなく、教員・職員のグローバル意識向上が極めて大事となってきます。</p>                                                |